

3D触力覚技術で ヴァーチャル体感を実現！

ターゲットパーソン

メーカーR&D部門・先端技術開発部門・次世代ビジネス開拓部門



急激に進化するユーザーインターフェース（UI）。商品の付加価値を向上させる手段として高い注目を浴びています。

3D触力覚技術を応用して、商品／サービスに、触った触感・感触を加えることにより、UIのリアリティ・満足感・安全性を飛躍的に向上させることが可能です。

- ・VR/ARにリアリティを！
- ・タッチパネルにリアルなボタンの押し心地を！
- ・遠隔ロボットの操作に感触を加え効率化を！

など、次世代商品開発担当に是非体験いただきたいです。

3D触力覚技術の応用シーン

VR、ゲーム、モバイル、自動車、そしてロボット・医療まで！



振動などの皮膚刺激だけで、触感・感触を体感できる3D触力覚技術は、小型のアクチュエータを商品に組み込むだけで、圧覚・触覚・力覚といった様々な感覚を表現可能です。

コントローラ、タッチパネルなど、商品の形を問わずデバイスを振動させることができれば、どのような商品にも搭載可能です。



技術特許24件をワールドワイドで出願/取得済。

産総研技術移転ベンチャー「ミライセンス社」は、これら特許を活用して、さまざまな分野での商品開発を進めています。

パネル型3DHaptics Navigator
2015年10月 CEATEC AWARD受賞